



太田町長に種を手渡す半田理事長(左)と「たびくまくん」(中央)

“ヒマワリを福島復興のシンボルに” チームふくしまがヒマワリの種を寄贈

ヒマワリの種を通じた復興支援「福島ひまわり里親プロジェクト」を展開するNPO法人チームふくしまは6月12日、全国から届けられたヒマワリの種約8万粒を町に寄贈しました。贈呈式では、半田真仁理事長とマスコットキャラクター「たびくまくん」から太田久雄町長へヒマワリの種が手渡されました。寄贈された種は役場や道の駅、小学校などで配布します。



啓発活動を行う太田町長と「くにみもたん」

“忘れず守ろう納期限” 納税への理解と期限内納付を呼びかけ

町は6月15日、道の駅国見あつかしの郷で「納税への理解と期限内納付」を呼びかける啓発活動を行いました。啓発活動には太田久雄町長や町税務課職員、「くにみもたん」らが参加。昨年度の国見町小中学生「税に関する作品コンクール」の入賞作品の標語が書かれたポケットティッシュを来場者に配りながら、納税の大切さを呼びかけました。



みんなで仲良く植えました

“花”を通して思いやりの心を育む 国見小学校で“人権の花運動”

国見小学校園芸委員の児童16人が6月15日、同校で人権擁護委員のみなさんと「人権の花運動」に取り組みました。この運動は、みんなで協力しながら花を育てることを通じて思いやりの心と人権思想を育むことを目的としており、児童らはマリーゴールドやベゴニアの花苗をプランターに丁寧に植えました。後日、大切に育てた花は町に寄贈する予定です。



「くにみもたん」とサイコロで対決！いざ勝負！

子どもたちの笑顔があふれる くにみキッズフェスティバル

『くにみキッズフェスティバル』が6月17日、道の駅国見あつかしの郷で開かれ、町内外から多くの親子連れが来場しました。会場では、「くにみもたん」とのサイコロじゃんけん大会やマジカルバルーンショー、『福島三人娘x』によるコンサートが行われ、子どもたちの笑顔があふれる一日となりました。



毎月19日は「みんなで食べる国見の日」です！

減塩&野菜を食べよう！ ～6月は食育月間です～

6月の食育月間に合わせ、町食生活改善推進員のみなさんは6月19日、コープmart国見店とハシドラッグ国見店で減塩と野菜の摂取を呼びかける食育啓発活動を行いました。啓発活動では、推進員のみなさんが「生活習慣病を予防し、健康に過ごすため、1日350g以上の野菜を食べましょう」と利用者に呼びかけながら、簡単レシピなどを配布しました。



ご協力ありがとうございます

みんなでみどりを守りましょう 緑の募金協力を呼びかけ

国見町緑化推進委員会（太田久雄会長）は5月16日、JR藤田駅前緑化推進の啓発を兼ねた募金活動を行いました。募金活動には、太田会長はじめ会員のみなさんや「くにみもたん」らが参加し、駅の利用者に「お帰りなさい」「いつてらっしゃい」などと声を掛けながら、「緑の募金」の協力を呼びかけました。みなさんのご協力ありがとうございました！



今年もミスピーチのみなさんと全国各地でPRします

福島のおいしいモモを全国にPR ミスピーチキャンペーンクルー来庁

2018ミスピーチキャンペーンクルーが5月25日、国見町役場を訪れ、キャンペーン活動開始のあいさつをしました。ミスピーチのみなさんは「福島の果物の魅力と生産者の思いを全国にPRします」と意気込みを語り、太田久雄町長が「まだまだ根強い風評の払しょくのため、まごころ込めてPRしてください。今年も一緒に頑張りましょう」と激励しました。



目録を手渡す川見代表（中央）と阿部会長（右）

社会福祉の向上に役立てて 桜歌謡会が町に寄付

桜歌謡会は5月30日、国見町役場を訪れ、社会福祉に役立ててほしいとの目的で町に4万1,202円を寄付されました。寄付金は、5月27日に開かれた「第8回桜歌謡祭」で出演者や来場者から募ったものです。贈呈式では、桜歌謡会の川見金吉代表と阿部正幸会長から太田久雄町長へ目録が手渡され、太田町長は「有効に活用します」と謝辞を述べました。



子どもたちに大人気の「くにみもたん」も協力

くにみもたんと一緒に 「おいしい水、安全な水」をPR

6月1日から7日までの水道週間に合わせ、町は6月7日、コープmart国見店とハシドラッグ国見店で広報活動を行いました。広報活動には太田久雄町長や町上下水道課職員、「くにみもたん」らが参加し、水道に対する理解と関心を深めてもらうと、利用者にパンフレットや風船を配りながら「おいしい水、安全な水」をPRしました。



雨の中奉仕作業に励んだ青年部のみなさん

地域のみなさんに感謝を込めて 国見町商工会青年部が奉仕作業

6月10日の「商工会の日」に合わせ、国見町商工会青年部は6月11日、国道4号国見パーキングでごみ拾いを行いました。赤坂稔部長は「青年部の活動は地域のみなさんに支えられて成り立っているの、少しでも地域に恩返しができる」と話し、青年部のみなさんはあいにくの雨にもかかわらず、路肩や植え込みのごみなどを丁寧に拾い集めていました。